

令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	けんせつフェア北陸in富山2019	事業経緯	継 続	実施体制	実行委員会	担当所属	技術調査室
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発	

1. 事業目的

本事業は、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とすることで、建設技術の一層の高度化、広範囲な技術開発の促進を図り、新技術・新工法の積極的な活用促進、建設技術を活かした地域づくりや担い手確保につながる広報を目的に開催する。

2. 事業実施体制

主 催：「けんせつフェアin北陸」実行委員会

国土交通省北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市/富山市/東日本高速道路(株)新潟支社/中日本高速道路(株)金沢支社/(一社)日本建設業連合会北陸支部/(一社)日本道路建設業協会北陸支部/(一社)新潟県建設業協会/(一社)富山県建設業協会/(一社)石川県建設業協会/(一社)日本建設機械施工協会北陸支部/(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会/(一社)建設コンサルタント協会北陸支部/(一社)建設電気技術協会北陸支部/(一財)日本建設情報総合センター北陸地方センター/北陸地質調査業協会/(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部/(一社)新潟県融雪技術協会/(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所/(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部/北陸PC防雪技術協会/(一財)新潟県建設技術センター/(一社)北陸地域づくり協会

共 催：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(協議会構成：34機関・団体)
協 賛：北陸電力(株)、東北電力(株)、東日本旅客鉄道(株)上信越工事事務所、関西電力(株)
後 援：富山大学、富山県立大学、北陸職業能力開発大学校、富山高等専門学校、
(一財)河川情報センター、(一財)先端建設技術センター、(公社)雪センター、
(一財)経済調査会北陸支部、ほか報道19社

3. 事業実施概要

日 時：令和元年10月2日(水)9:30～17:00 — 10月3日(木)9:00～16:00
場 所：富山産業展示館(テクノホール)
開催テーマ(キャッチフレーズ)：「次世代へ、イノベーションをもたらす建設技術」
展示内容など：

- ・民間企業の新技術・新工法の紹介展示
- ・ICT関連技術の特設展示・実演
- ・北陸地方整備局、自治体等の公共事業の紹介展示
- ・学校(大学)の研究開発の紹介展示
- ・展示技術プレゼンテーション
- ・合同企業セミナー

出展規模：151出展者(過去3番目)、355技術(過去2番目)
来場者：のべ4,625人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

1993年より隔年で開催しており、今回で14回目。行政関係者並びに建設技術者の技術力向上、技術研鑽・高揚を図り、技術開発・研究開発の一助となるとともに、新技術・新工法の活用・普及につながる事が期待されている。また、2016年を「生産性革命元年」と位置付け、総力を挙げて生産性革命に取り組んでおり、建設現場で働く労働者の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めている。

本事業では、屋外に実演・体験型のICT関連の特設展示会場を設けて最新の建設機械の実演が行われ、多くの来場者から注目されていた。ICT技術をはじめ、最新の技術を見学して、建設現場が大きく変わろうとする事も感じ取れたものと思われる。合同企業セミナーに参加した学生からは「実演や体験(VRなど)もあり、すごく興味を持たれた」、「通常の企業説明会より充実していた」などの意見、引率教諭からは「進路に悩んでいる生徒も多く、体験を通じて参考に出来たことが多数あったと感じた」など、本事業の目的である担い手確保に繋がる成果が十分に感じ取れた。

出展者アンケートにおいても「北陸地域市場の拡大の足がかりになる可能性に期待する」「官公庁関係者に来場いただき、良いPRの機会となった」などの意見があり、回答者のほぼ全員が「次回以降も出展を望む」結果となり、来場者だけでなく出展社にとっても大変有意義な事業であったことが伺える。



テープカット



合同企業セミナー



ICT特設展示・実演